

5 受験上の注意

(1) 試験について

- ①試験日当日、受験票を忘れた方はただちに入試課（地方会場は、試験本部）で再発行手続きをしてください。
- ②試験場の開門は、午前8時30分です。午前9時45分までに指定の席に着席し、受験票を机上に提示してください。
- ③2部の受験において、試験を2時限目（午前11時50分）から受験する場合は、午前11時35分までに着席してください。
- ④試験開始後20分を過ぎた場合は、その時間の科目は受験できません。
- ⑤試験会場内は禁煙です。
- ⑥試験中に使用を認めるものは以下のとおりです。
HBの黒鉛筆・シャープペンシル〔「国語」および「選択（国語）」、「外国語」および「選択（英語）」の試験時間は使用不可〕、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計（時計機能だけのものに限る）、鉛筆削り（電動式は認めない）、メガネ
*下敷き、定規、コンパスの使用は認めていません。
*電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品およびこれに類するものの試験場への持ち込みを禁止します。
*ティッシュペーパー（予め袋等から中身を取り出しておくこと）、座布団、ひざ掛け、目薬については、監督者に申し出のうえ、許可を得たうえで使用できます（監督者による確認の結果、使用できない場合があります）。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限りです。
*帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるもの、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
*試験室は換気を行いますので、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
- ⑦携帯電話およびこれに類するものは、試験中は電源を切り、カバンの中にしまってください。
- ⑧「国語」および「選択（国語）」、「外国語」および「選択（英語）」の試験はマークシートでの解答になります。解答には、必ずHBの黒鉛筆、プラスチック製の消しゴムを使用してください。HBの黒鉛筆以外のもの、シャープペンシルを使用して解答した場合には、解答が読み取れない事例がありますので、使用しないでください。
- ⑨試験場からの退場については、試験監督者の指示に従ってください。受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- ⑩上履きは不要です。

(2) 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。

なお、検定料は返還しません。

*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。

- ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- ②カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦試験時間中に、下敷き、定規、コンパス、電動式鉛筆削り、電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品、およびこれに類するものを使用すること。
- ⑧試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
- ⑨「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ⑩試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(3) リスニングテストに関する注意

- ①人文学部1部英米文化学科はリスニングテストを行います。試験前半20分程度で実施し、配点は30点となります。
- ②遅刻をした場合は、リスニングテストを受験できません。
- ③予期せぬトラブル等により、リスニングテストの継続が困難となった場合には、筆記試験の後にリスニングテストを行う場合があります。この場合には以下のように試験を実施します。ただし、上記②の遅刻者は、リスニングテストを受験できません。
(ア) 当初の試験を中断した場合は、中断箇所より後ろの問題に対してテストを再開します。
(イ) トラブルの発生状況から当初の音声問題を用いることができない場合は、異なる音声問題を用いて再テストを行います。当初のテストを受けた受験生と再テストを受けた受験生の平均点に6点以上の差があり、この差が問題の難易度の違いによると認められる場合には得点調整を行います。ただし、全体の20%以上の受験生が再テストを受験している場合に限りです。

(4) 本学（豊平校舎）試験場の受験生へ

- ①各試験日前日の午後3時40分から本学（豊平校舎）の試験場となる校舎の位置確認はできますが、**校舎内の下見はできません。**
- ②会場は、学部・学科・コース、受験番号によって分かれますので、学生正面玄関で受験をする教室を確認してください。
- ③昼食は、できるだけ持参してください。
- ④試験場およびその周辺での駐車を禁止します。校舎内への受験生以外の者の立ち入りはできません。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。
- ⑤公共交通機関の遅延・運休により、試験開始時刻に間に合わない場合は、遅延・運休に関する証明書を必ずお受取りください。その後、本学入試課まで連絡の上、試験場に到着した際に、必ず受付に申し出てください。

(5) 地方試験場の受験生へ

- ① 地方試験場には、直接お問い合わせはできませんので、本学入試課にお問い合わせください。
- ② 会場案内は、試験日当日の午前8時30分に掲示します。試験日前日の下見はできませんので注意してください。
- ③ 地方試験場には、昼食施設がない所がありますので、注意してください。
- ④ 試験場およびその周辺には、駐車場がない所もありますので、公共交通機関を利用してください。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。
- ⑤ 公共交通機関の遅延・運休により、試験開始時刻に間に合わない場合は、遅延・運休に関する証明書を必ずお受取りください。その後、本学入試課まで連絡の上、試験場に到着した際に、必ず受付に申し出てください。

6 2部の「選択」科目について

(1) 2月9日(経済学部2部)、2月10日(経済学部2部、2部経営学科)、2月11日(法学部2部)の受験生へ

- ① 「選択」の6科目のうち、『英語』の試験のみ3時限目に行われます。
その他の5科目については、1時限目に行います。
- ② 「選択」の試験は、1時限目と3時限目の両方を受験することもできます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③ 「選択」の科目は、試験時選択です。

(2) 2月9日(2部英米文化学科)の受験生へ

- ① 「選択」の5科目のうち、『国語』の試験のみ2時限目に行われます。
その他の4科目については、1時限目に行います。
- ② 「選択」の試験は、1時限目と2時限目の両方を受験することができます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③ 「選択」の科目は、試験時選択です。

(3) 2月12日(2部日本文化学科、法学部2部)の受験生へ

- ① 「選択」の5科目のうち、『英語』の試験のみ3時限目に行われます。
その他の4科目については、1時限目に行います。
- ② 「選択」の試験は、1時限目と3時限目の両方を受験することもできます。その場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。
- ③ 「選択」の科目は、試験時選択です。

* 2部においては、選択科目の受験方法が学部・学科により異なりますので、複数の学部・学科を併願する受験生は、上記により確認してください。

7 試験場

※試験場案内図は82頁参照

受験地	会場	所在地
札幌	北海学園大学豊平校舎	札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161 (代)
旭川	旭川北洋ビル	旭川市4条通9丁目1703番地 旭川北洋ビル8F
帯広	とがち館	帯広市西7条南6丁目2番地
函館	函館北洋ビル	函館市若松町15番7号函館北洋ビル9F
東京	早稲田予備校東京本校	東京都新宿区高田馬場4-4-21
盛岡	いわて県民情報交流センター(アイーナ)	岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号